

<東北地区納税貯蓄組合連合会長賞>

今の私の税金と大人になってからの税金

田村市立船引中学校

3年 遠藤 真生

私が今、払っている税金は「消費税」しかない。普段買い物をしているときには必ずふくまれている税であるし、5パーセントから8パーセントに引き上げになることも経験したし、来年の10月には10パーセントに引き上がることも知っている。子どもでも、「消費税」を払わなければならないことに不満を持っているわけではないし、しょうがないことだと思っている。しかし自分が大人になってからは、自分で払わなければならない税金がたくさんあることを知った。「所得税」や、「相続税」などの聞きなじみのある税金もあれば、「酒税」や、「たばこ税」など初めて聞く税金も多くあった。私は公民の授業で税金の種類が多さを知ったとき、とても驚いた。自分が大人になって払うと考えたら衝撃的で心配にもなった。

経済的に税金を払うことで精一杯の人が、日本にも居るというのに、国の借金はいっか絶対にかえさなければならない。これは日本が長くかかえる欠点になると思う。少しでも早く借金をかえしてほしいが、国民にも多くの負担がかかっているということを知ってもらいたいと感じた。自分が大人になったらより感じるだろうと思う。

福島県田村市では、病院や歯医者などの医療関係の場所で、18歳以下は無料、19歳から69歳は3割、70歳以上は1割の料金を払えば、治療や薬をもらうことができる。小さい頃は全く気にすることはなかったが、最近このお金は誰が払っているのだろうと思っていた。公民の授業で先生が大人が税金で払っていると言っていたのを聞いて、少しかぜをひいたら病院に行くという考えにとまどいを持ち始めました。これから「少子高齢化」が進んで行き、私達が税金を払う立場になり、自分達の親が高齢者となった

ら、高齢者は医療関係の場所に患者としての関わりが多いので、私達の世代の人達は、今税金を払っている大人よりも負担が多くなると考えられる。この様になったとき、国や県や市ではどのように対応し対策を考えるのか、少し楽しみでもある。

今まで「消費税」しか払っていなかった私が、働くようになり大人として税金を払うようになったら、多分「苦」になるのではないかと思う。でも私が税金を払うことにより、地域の学校で生徒が快適に過ごすための手助けになったり、少しでも体の不自由な人などのための支援金になり、個人の「苦」が誰かの「楽」になっていると思うことができるのならば、日本はよりよい国に変わってくると思う。

子どもが払う一つの税金と大人が払う多くの税金は、内容も異なるが払っている側の気持ちも違うと思う。私は大人になったときに税金を払うことを「苦」ではなく、誰かの「楽」になると思えるように、「楽」になっていると信じていこうと思います。